

残留農薬検査(その3)

1 残留農薬検査について

平成18年5月29日より、残留農薬等の規格基準について、ポジティブリスト制が施行されました。それに伴い、衛生研究所では残留農薬の検査項目を従来の40項目から90項目へ増加して対応を行っています。それら90農薬の検査項目及び検出限界について、表1に示しました。また、この表に掲載していない農薬についても、検出された場合には、標準品を入手して添加回収試験を実施し、その結果、回収率が一定の範囲にあり、データの信頼性が確保されたものについては局食品専門監視班等に報告しています。

2 国内産農作物

食品専門監視班から10月及び11月に搬入された国内産農作物(ほうれんそう、こまつな、かぶ(根)、かぶ(葉)及びはくさい各3検体の計15検体)について残留農薬検査を行い、その結果を表2に示しました。はくさい1検体からクロルフェナピル(0.05ppm、基準値1ppm)及びフェンバレレート(0.05ppm、基準値3.0ppm)が検出されました。いずれの農薬についても、残留農薬の基準値を超えるものではありませんでした。

また、市民要望枠収去検査^{*}として旭福祉保健センターから12月に搬入されたトマト、かぶ(根)及びかぶ(葉)各1検体の計3検体について残留農薬検査を行い、その結果を表2に示しました。トマトからブプロフェジン(0.12ppm、基準値1ppm)が検出されましたが、残留農薬の基準値を超えていませんでした。なお、ブプロフェジン(窒素(N)系農薬、殺虫剤)は表1の90項目には掲載されていない農薬です。

3 輸入農作物

食品専門監視班から10月及び11月に搬入された輸入農作物(しいたけ(中国産)、バナナ(ペルー産)、かぼちゃ(トンガ産)、アスパラガス(オーストラリア産)各1検体及びパイナップル(フィリピン産)2検体の計6検体)について、残留農薬検査を行った結果を表2に示しました。パイナップル1検体からトリフルミゾール(0.34ppm、基準値2.0ppm)が検出されました。この値は基準値の20%程度の残留であり、特に問題となる値ではありませんでした。このトリフルミゾール(窒素(N)系農薬、殺菌剤)も表1の90項目には掲載されていない農薬ですが、前述したブプロフェジン同様に報告しました。

4 冷凍野菜

食品専門監視班から10月及び11月に搬入された冷凍野菜(えだまめ、さやいんげん各4検体、ほうれんそう2検体、そらまめ及びブロッコリー各1検体の計12検体)について、残留農薬検査を行った結果を表2に示しました。ブロッコリーからシハロリンが検出されましたが低い値(0.01ppm、基準値0.5ppm)でした。また、さやいんげん(タイ産)1検体からクレソキシムメチル(0.04ppm)が基準値(0.05ppm)に近い値で検出されましたが、基準値を超えるものではありませんでした。

^{*} 市民要望枠収去検査とは、各福祉保健センターがリスクコミュニケーションやアンケート調査等を行い、それにより把握した市民からの要望について反映することを目的とした検査です。

表1 90農薬の検査項目及び検出限界(単位:ppm)

農薬名	検出限界	農薬名	検出限界	農薬名	検出限界
有機リン(P)系農薬(38)			有機塩素(Cl)系農薬(16)		
EPN	0.01	テルブホス	0.005	BHC(α 、 β 、 γ 及び δ の和)	0.005
イソフェンホス	0.01	トルクロホスメチル	0.01	γ -BHC(リンデン)	0.002
イプロベンホス	0.01	パラチオン	0.01	DDT(DDE,DDD,DDTの和*)	0.005
エチオン	0.01	ピペロホス	0.01	アルドリン及びディルドリン	0.005
エトプロホス	0.005	ピリダフェンチオン	0.01	エンドスルフアン	0.005
エトリムホス	0.01	ピリミホスメチル	0.01	(α 及び β の和)	
カズサホス	0.01	フェニトロチオン	0.01	エンドリン	0.005
クロルピリホス	0.01	フェンクロルホス	0.01	クロルフェナピル	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	フェンスルホチオン	0.01	クロルフェンゾン	0.01
クロルフェンビンホス	0.01	フェンチオン	0.01	ジクロラン	0.01
シアノフェンホス	0.01	フェントエート	0.01	ジコホール	0.01
シアノホス	0.01	ブタミホス	0.01	テトラジホン	0.01
ジオキサベンゾホス	0.01	プロチオホス	0.01	トリアジメホン	0.01
ジクロフェンチオン	0.01	プロパホス	0.01	プロシミドン	0.01
ジメチルビンホス	0.01	ホサロン	0.01	プロピザミド	0.01
ジメトエート	0.01	マラチオン	0.01	ブロモプロピレート	0.01
スルプロホス	0.01	メチダチオン	0.01	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005
ダイアジノン	0.01	メチルパラチオン	0.01		
テトラクロルビンホス	0.01	メビンホス	0.01		
窒素(N)系農薬(24)			ピレスロイド(Py)系農薬(12)		
イソプロカルブ	0.01	ピリプチカルブ	0.01	アクリナトリン	0.01
エスプロカルブ	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	シハロトリン	0.01
カフェンストロール	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	シフルトリン	0.01
クレソキシムメチル	0.01	フェナリモル	0.01	シペルメトリン	0.01
クロルプロファミ	0.01	ブタクロール	0.01	テフルトリン	0.01
シメトリン	0.01	フルジオキソニル	0.01	デルタメトリン及びトラロメトリン	0.01
チオベンカルブ	0.01	フルトラニル	0.01	ハルフェンプロックス	0.01
チフルザミド	0.01	プロメカルブ	0.01	ビフェントリン	0.01
テトラコナゾール	0.01	ヘキサコナゾール	0.01	フェンバレレート	0.01
テブコナゾール	0.01	ペンコナゾール	0.01	フルシトリネート	0.01
テブフェンピラド	0.01	メトラクロール	0.01	フルバリネート	0.01
トリアジメノール	0.01	メトリブジン	0.01	ペルメトリン	0.01

*DDTはp,p'-DDE,p,p'-DDD,o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

表2 国内産農作物、輸入農作物及び冷凍野菜の残留農薬検査結果

(H18年10、11、12月)

農作物	産地	検査 検体数	検出数	農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
国産農作物						
ほうれんそう	国産	3	0			
こまつな	国産	3	0			
かぶ(根)	国産	3	0			
かぶ(葉)	国産	3	0			
はくさい	国産	3	1	フェンバレレート	0.05	3.0
				クロルフェナピル	0.05	1
トマト	国産	1	1	ブプロフェジン	0.12	1
かぶ(根)	国産	1	0			
かぶ(葉)	国産	1	0			
輸入農産物						
しいたけ	中国	1	0			
バナナ	ペルー	1	0			
かぼちゃ	トンガ	1	0			
アスパラガス	オーストラリア	1	0			
パイナップル	フィリピン	2	1	トリフルミゾール	0.34	2.0
冷凍野菜						
えだまめ	中国、台湾、タイ	4	0			
さやいんげん	中国、タイ	4	1	クレソキシムメチル	0.04	0.05
ほうれんそう	中国、ベトナム	2	0			
そらまめ	中国	1	0			
ブロッコリー	エクアドル	1	1	シハロトリン	0.01	0.5

【 微量汚染物担当 】